

## 彦根市教育委員会会議録

会議の日	令和5年10月26日(木)
会議場所	彦根市役所本庁舎5-1会議室、5-2会議室
出席委員等 5人中 5人出席	教育長 西嶋 良年 教育長職務代理者 本田 啓子 委員 小松 照明 委員 永濱 隆 委員 田附 孝子
出席職員 (説明員)	教育部長 前川 学 教育部次長(教育総務課長) 小島 久喜 子ども未来部次長(幼児課長) 前川 昌敏 副参事(博物館副館長、学芸史料課長) 渡辺 恒一 学校教育課長 東野 了賢 学校教育課主幹 井上 崇子 学校ICT推進課長補佐 大西 大 学校支援・人権・いじめ対策課長 小磯 浩司 生涯学習課長 小椋 朋子 生涯学習課主幹 林 宏 博物館管理課長 野村 雅之 学校給食センター所長 今井 和宏 図書館長 田中 淑介 図書館主幹 鈴木 康浩 広野教育集会所長 中江 淳展
会議次第	1 開 会 午後1時30分 2 議 題 内 容 別添のとおり 議案第42号 彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会委員の委嘱および任命に ついて (学校教育課) 3 その他 内 容 別添のとおり 4 閉 会 午後2時15分



## 1 開 会

教育長 ただ今から教育委員会会議を開会します。

本日提案している議題は、1件です。

本日の議事の進行につきましては、「教育長報告」の後、議案第42号の審議をいただき、その後、「各所属の取組事項について」の質疑を行い、「その他」で教育委員会の所管事項について、委員からのご質問をいただきます。

本日の議事進行につきまして、ご異議はありませんか。

各委員 なし。

教育長 それでは、まず私から「教育長報告」をさせていただきます。

9月30日土曜日、彦根市平和祈念式典がみずほ文化センターで開催されましたので、参加をしました。

10月2日月曜日、10月定例校長会議をWeb会議として実施し、出席をしました。

10月3日火曜日、彦根市幼稚園・こども園長研修会が本庁で開催されまして、講師として参加させていただきました。

10月4日水曜日から4日間の日程で、人事評価に関わる校長前期面談を実施しました。

10月5日木曜日、市ICT推進リーダー研修会が河瀬小学校で開催されましたので、視察を行いました。

10月6日金曜日ですが、市議会決算特別委員会が開かれましたので、出席をしました。

10月7日土曜日、みどり幼稚園の運動会が開催されまして、来賓として出席をしました。

10月10日火曜日、人事異動にかかる校長ヒアリングを、6日間の日程で実施しております。最終日は、10月31日です。

10月11日水曜日ですが、JICAボランティア派遣でペルーに行かれます、武部樹理さんが表敬訪問されましたので、激励会に参加しました。

10月12日木曜日ですが、9月議会が閉会となりましたので、自席で傍聴をさせていただきました。

10月13日金曜日ですが、県中学校教育研究会理科部会の研究発表協議会が彦根西中学校で開催されましたので、出席をしました。

10月14日土曜日ですが、彦根市小学校陸上記録会が5年ぶりに彦根市総合スポーツ公園陸上競技場で開催されましたので、出席しました。

10月16日月曜日、第1回彦根市総合教育会議が本庁で開催されましたので、教育委員の皆様とともに出席をしました。

10月17日火曜日ですが、県都市教育委員会連絡協議会県内研修が米原市役所で開催されましたので、出席をしました。

10月21日土曜日ですが、中地区公民館文化祭が開催されましたので、参加をしました。

10月22日日曜日ですが、佐和山学区子ども会指導者連合会が結成65周年を迎えられ、記念式典を開催されましたので、出席をしました。

10月26日木曜日ですが、10月の教育委員会会議となっています。

報告は以上です。何かご質問やご意見がありましたらお願いします。

各委員 なし。

## 2 前回会議録の承認

## 3 議題

議案第42号 彦根市地域スポーツ・文化クラブ活動整備推進協議会委員の委嘱および任命について

学校教育課長から説明がありました。

小松委員 2点教えて欲しいのですが、1点目は、組織の委員が学校関係者、校長とか教育委員会の課長とかになっています。例えば、地元で今活動していただいている、稲枝地区学校支援協議会のメンバーが一番現場を知っているわけなので、現場では何が問題になっているのか、地域移行に向けてそういう方をこの中に入れないと本当の問題が出てこないのではないかと。そういうところが少し抜けているのではないかという感じがします。

それと2点目は、地域への部活動移行はもう半年ぐらい前からテーマになっていて、全国の教育委員研究協議会でもテーマになっていて、他の全国の教育委員に聞くと、いろいろなことが決まっていないと言われます。指導員の問題、お金の問題、それについては国の考えが不明確だという意見がほとんどで、今の時点で国の方針はどうなのか。先月いただいた資料には国の方針が3項目あって、段階的に構築しなさいとか、先生は関わらないようにしなさいとか、多様なニーズに合った活動の機会とか、国の方針を教えていただいたのですが。今日現在で、部活の地域移行に対する県、国の新たな指針、特にお金の問題とか人の確保と

か、そのことについて情報があれば教えて欲しいです。と言いますのは、11月2日に県教育委員会との話し合いの場がありまして、私は部活動の地域連携のグループに入っていて、彦根市としてどういうことをやっていくのか発表しないといけないので、参考にしたいと思っています。

学校教育課長 ご質問2つのうち1点目ですが、設置要綱の中で委員は10名程度をもって組織するとなっており、具体的に取り組を進めてくださっている方は予定していません。委員の活動内容の中に、会議に向けて調査をすることが含まれています。委員として調査をいただき、実態把握をしていただいたものを協議会の中で報告し、整理を進めていくことで、今年度はスタートを切るような設定をしているところです。具体的な取り組を進めている生の声の反映につきましては、この協議会に向けての資料とか意見を聴取した上で、協議会で総合的なことを考えていくようにしたいと思っています。

2点目の国や県のその後の新しい動きですが、現在のところ、前回までにお話ししたこと以上の新しい情報は特には入っていません。しかし、事務局は当課の職員がしていますので、県教育委員会と随時連絡を取り合っています。先にお伝えしたとおり、県内8つの市町が今年度手を挙げて、この取り組をそれぞれの自治体で進めています。しかし、先週確認し、進捗状況をお伺いしたところ、競技団体と協議をしていくことはしているが、彦根市のように具体的に専門家に入ってもらう動きはほとんどできていないと聞いています。さらに、本市としても来年度のことを見込んでいきたいと思っていますので、来年度のこの事業はどのようになっているかということ、県の職員にお尋ねしています。具体的にどこの市でこういう組織を作って、進めていく実際的な動きのところまで、なかなか進んでいないと聞いています。

小松委員 協議会の委員に現場の人が入らない理由としては、今定員が10名程度であるとか、その代わりに会議に向けた調査を委員が行うから現場の人を入れなくてもよいということでした。それなら、直接委員として入ってもらったらよいのではないですか。そこがよくわかりません。これは、現場の人を入れるような会議ではないというものでしたらよいと思いますが。あくまで学校だけの問題の打合せや、この中に現場の人が入ってしまうと、論点が違う方になってしまうので学校側の会議を主体にする、目的がそれであればよいと思います。ただ、いろいろな人の意見をもらって、今後の方向性をまとめていこうとしたら、やはり現場の人が入って直接意見をその場の会議の場で言ってもらった方がわかりやすいです。だか

ら、その人達を入れない理由は今の説明では理解できない。それだけの理由なら、入れた方が早くいろいろなことが進むのではないですか。他の理由があればよいと思いますが。この会議の目的があくまでも学校側、事務局側の課題だけをメンバーでまとめるものだ。参考に意見は聞くけれども、直接会議に入ってもらってはしないと。その方向性が違う方向いったらよくないので入れていません、ということであれば、それはそれで正しいやり方だと思います。

学校教育課長 現場の声を今の組織を生かしていくためには、協議会に入ってもらって進めていく方がよいことはよく理解しました。この設置目的は、様々な形で取り組んでもらっている方の代表に入っていただくという視点も大事ですが、彦根市として全体をどのように進めていくか図っていきたくとしています。会議には、委員以外の者の出席を求め、意見や説明を聞くことや資料を求めることができることが可能であるため、例えば稲枝中学校区の実態については事務局をしている学校教育課が把握したり、中学校の実態は中学校長会に調査してもらったり、中学校体育連盟との関係については中体連の代表者で情報収集してもらって、何か不具合があるかとか調べてもらって、総合的に考えていく形で進めていくことや直接話を聞くことも検討していかなければならないと思っています。

永瀆委員 今の話は理解できたのですが、私も小松委員とほぼ同じ意見です。基本的にこの委員会は年何回ありますか。

学校教育課長 今年度は後半に入ってきていますが、この後3回を予定しています。

永瀆委員 委員として現場の人に入っていただくことについて、現時点で方針としてないということは理解できました。ただ、委員会の委員がいろいろ現場の意見を聞きたい、質問したいといった時に、回答が次回の2ヶ月後となると、そういう中では議論が進まないのではないのでしょうか。毎月開催する、2週間に1回開催するというのであればよいと思います。ただ、何かその現場について委員が質問された時、どのように今はやっているのですかとか。予め調査して意見を聞いて情報を集めておくと言われましたが、しっかり情報を収集しないとその場で答えられないことが多いのではないのでしょうか。その覚悟があって、それぐらいの情報を事前に収集しておくという強い気持ちがあればよいと思いますが。期間が2ヶ月空いてしまうと、スピーディーさに欠けると思います。委員はこれだけ決まっているのですが、現状はどうかという説明をする場に、オブザーバーとして現場の人に臨時で出席してもらって質疑応答をするとか、そういう場を持つのはどうかと考えます。

学校教育課長 今言っていただいたことは、こちらもかなり意識しないと進捗しないと思っています。会議に先立って事前に質問したいこととか、1 回目の会議を開催する時に、こういう設置要綱でこういう目的でやるということをお伝えした上で質問を把握しておくとか、あるいは、具体的に生の現場の現状を報告していただくということで、委員以外に報告する形で現場の方に来ていただくことは想定しています。そのことは意識しなければならないと思っていました。まだ進んでいない中ですが、文化部の方も現状どうなのだという点について、場合によっては委員の中に吹奏楽の方に入ってもらっていますが、吹奏楽だけでなく文化部も様々ありますので、可能であれば、現場の声とか委員以外の事業推進者に会議に参加いただくことや、一般の方で専門的な知識を持っている方に入ってもらいたいということを考えていきます。

永瀆委員 了解しました。ただ、こういう新しいことを始める時には、事前に委員の質問をまず受けて当日用意するようなことを言われましたが、その Q&A の中でまた新たな質問で出てくる、これが普通です。やはり、その当事者にいてもらう方が進むと思います。また、文科系は吹奏楽の他にもたくさんありますので、最初の時には、生の意見を聞くためにある程度大きな会の中でいろいろ情報を収集できるように、その現場の先生にもなるべく参加してもらった方がよいと思います。その代表者が集まっても、一部の意見しか多分出ないと思うので。その地域では今もうすでに進行されていて、非常に理想的な地域の協力があるのですが、他の地域ではなかなか難しいところがある。そこはいろいろな地域の声をダイレクトに会議の中で聞くというのが、やっぱり必要ではないかなと思います。

教育長 各委員から課題となりそうなこと、また、協議会の効果的な持ち方についての意見をいただきました。

本田職務代理者 今のことについてですが、前回説明してもらった時にも、稲枝をモデル校として始めたけれどもある意味特殊な部分もあって、それがすぐ他の校区に採用されるかという点、必ずしもそうではないということが課題になっていましたので、協議会を進めるにあたって各学校の様子もそうですが、全国の事例を見た時にその役目を担っているような例がたくさんありましたので、そういうことを知識としてこの委員の皆さんとかにも知らしめることが大事なかなと思います。あとは自分の校区で具体的な話になった時には、その校長先生やその地域の人とか、そういう細かい話し合いも大事になってくるとは思います。少なくとも今 2 人の委員から話があったように、みんなで共通理解していくことが最初の段階かなと

思いました。

田附委員 私も同じ意見で、やはり実際にやっている代表の方に来てもらって、生の声を聞いて話していただくという取組は大事なと思います。

教育長 課題として考えられること、また、協議会がしっかりと機能するためのご意見をいただきました。事務局の方ではこれらを踏まえまして、協議会が効果的に機能するような取組をお願いしたいと思います。

議案第 42 号は原案のとおり承認されました。

#### 4 各所属の取組事項について

小松委員 1 点目は学校 ICT 推進課、2 点目は図書館です。1 点目は、学校 ICT 化推進課にお聞きしますが、ICT 推進リーダー研修会が 10 月 5 日に行われ、講師が熊本県小国町の小学校の先生となっています。なぜこの学校を選んだのか、何かその特徴とといいますか、我々にとって非常に役に立つとか、そういう情報があったことで選ばれたのかなと思うのですが。実際、その講演の中身はどのようなものだったか教えていただきたいです。2 点目の図書館ですが、英語でおはなし会というのがありますが、以前から継続してされているものですか。また、この目的とかその内容を教えてください。総合教育会議でも、彦根市の子どもの英語のレベルが少し低いというような結果になって、少し英語についての話題が出たので。このおはなし会の対象が 4 歳から小学生なので、そのやり方とかどういう目的で始められたのか、わかれば教えていただきたいです。

学校 ICT 推進課長補佐 今回講師としてお越しいただいたのが、小国小学校の校長先生になります。この小国小学校というのが、令和 4 年度に本市が整備しましたアクティブラーニング教室と同じような教室を半年ほど先に作られている学校になります。その教室を活用した授業研究を進めておられますので、そういった取組についてお話をいただきました。

図書館長 英語でおはなし会は、以前からしている事業で、もともとは彦根児童図書研究グループの副会長が中心となっている、英語で読み聞かせをされているグループがありまして、今までからいただいているもので、報償費をお支払いして実施しているものになります。内容は図書館所蔵の英語の絵本を使ったおはなし会になります。

小松委員 彦根市がやったアクティブラーニング教室と同様なことをやっているから、講師に来ていただいたということですが、これとは違う点、特徴的な点というのは何かあったのでし



ようか、非常にこの話はよかったとか。何か特徴的なことがあれば教えていただきたいなど。  
学校 ICT 推進課長補佐 基本的には彦根市と同じ取組をされています。

教育長 私が参加をして校長先生のお話を聞く機会はなかったのですが、以前教育委員会で ICT の推進について一生懸命実践指導されていた方で、今、授業を変えるために、ICT の活用について熱い思いを持っておられます。現場の教育を変えていく時に、これまでのやり方から ICT を活用して指導することへの変化、変革にはエネルギーが要るわけですが、そういう中でどうやって ICT を教育の中に取り入れていくかということについて、いろいろこれまでの実践経験があり、強い思いを持っておられるというところで、今回講師として選んだと聞いています。

永濱委員 就学時健診について、5 月にマスクの規制が自由になっていますが、現場では今インフルエンザが猛威を奮っています。明らかに患者数が増えていて、10 月末から 11 月にかけてこれから学校で実施するわけですが、マスク着用は強制できないと聞いています。幼稚園、保育園から上がってくるお子さんが、お父さん、お母さんと一緒に来ると、お子さん同士、親同士が接触することになります。コロナ禍ではないですが、マスク着用のご協力という形でやってもらうことはできないのでしょうか。

学校教育課長 教育委員会からも出務していますので、その時にマスクの予備を持って行って、置かせてもらって、必要な人に利用してもらいます。学校は基本的な感染対策をしていますが、促していくようなお願いをしているところです。少し話がずれてしまいますが、インフルエンザ、コロナウイルスによる学級閉鎖が止まっているわけではなく、今週に入って、彦根市内の小中学校 3 つの学校で 4 つの学級が学級閉鎖となっています。こちらはかなり危機感を持って、現場でも危機感を持っていますので、この時期、これから 11 月末までは注意をしないと捉えて、対応していきたいと思っています。

本田職務代理者 生涯学習課にお尋ねしますが、コミュニティ・スクールの令和 6 年度導入予定校に指導助言を行うと書いてあるのですが、令和 6 年度に 100% 導入を目指すという説明が以前あったと思いますが、今どのような状況でしょうか。

生涯学習課主幹 今年度の訪問校については、コミュニティ・スクールの令和 6 年度導入予定校、あるいは学校訪問を希望される学校を中心に訪問しています。現在、訪問の途中ですが、令和 6 年度に向けてそれぞれの学校で進み具合は違いますが、準備を進めていただいている点やこういう点で苦労しているということをお聞きして、それに向けての助言をしているとこ

ろです。令和6年度に100%を目指すのかということについては、数年前から計画的に学校に呼びかけて準備を進めてもらっているところですので、期限が令和6年度ですということをお願いして、それに向けての準備をあるいはそれに向けての助言をしていて、令和6年度にすべての学校がコミュニティ・スクールになるという形で進んでいます。

本田職務代理者 全国の教育委員とのオンラインによる研究協議会でも、コミュニティ・スクールの導入についていつも話題に上がります。本市と同じようなことをやっているが、学校別協議会の本来の目的のところまで浸透して進んでいるというよりも、今までの既成の評価委員会からスライドさせて進めているところが多くて、なかなか進まないという話も聞いていますので、指導助言とかそういうことがすごく大事だなと思います。

田附委員 図書館の今の利用状況は、コロナ前と比べてどうでしょうか。利用する人が増えているとか、その辺を教えてくださいたいと思います。

図書館長 コロナ前と今では、そう変わっていません。もともとコロナ時期も図書館に来られたお客さんはあります。若干利用者数としましては、落ちている部分もあります。

本田職務代理者 幼児課にお聞きしたいのですが、入園の申し込みについて、金城幼稚園は今度子ども園になる方向なので募集をされていないということでしょうか。

幼児課長 はい、そういうことです。ご指摘の通り、今年度3月で閉園ということで今現在金城幼稚園に在籍しています、3歳児と4歳児は来年度4歳児、5歳児と上がるのですが、特別他の園に行きたいというご希望の方を除いてはそのまま金城こども園の方に移ってもらうことになります。

田附委員 幼児課になりますが、11月14日に公開保育ということで高宮幼稚園でされると思いますが、公開なら誰が行ってもよいのか、教育委員なども行かせてもらってもよいのでしょうか。

幼児課長 これは園が独自で実施される公開保育ですので、今案内を出させていただいていますのが、就学教育推進協議会、今の委員をしていただいている学校、各園の委員、それから高宮幼稚園が属する学区の学校には案内を出しているところです。特に来てもらっては困るということはありませんので、事前に幼児課に連絡いただければ、来ていただいて構いません。歓迎しますので、よろしくお願いします。

## 5 その他

各委員 なし

教育長 以上で本日の会議を閉会します。

11月の会議は、11月21日火曜日、午後1時30分から本庁舎5階5-1、5-2会議室で開催  
します。皆さんお疲れ様でした。